

『 伴侶動物の臨床病理学 第3版 』 (1刷) 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-377-3

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

表の見方は以下のとおりです。

p. : 掲載ページ、左 : 当該ページの左段、右 : 同じく右段、

上 : 上から数えた行数、下 : 下から数えた行数。

訂正箇所		誤	正
p.91	右下7行目	ネスブ® (協和発酵キリン) を 100U/kg ivまたはsc, 週1回注射する。	ネスブ®注射用製剤 (協和発酵キリン) を 0.5 μ g/kg sc, 週1回注射する。
p.124	左下7行目	内因系のVII, XI因子の欠損は除外可能である。	外因系の第VII因子, ならびに内因系の第XI因子の 欠損は除外可能である。
p.188	右下5行目	ネスブ®注射用製剤 (協和発酵キリン) を 100U/kg ivまたはscで週1回注射する。	ネスブ®注射用製剤 (協和発酵キリン) を 0.5 μ g/kg sc, 週1回注射する。